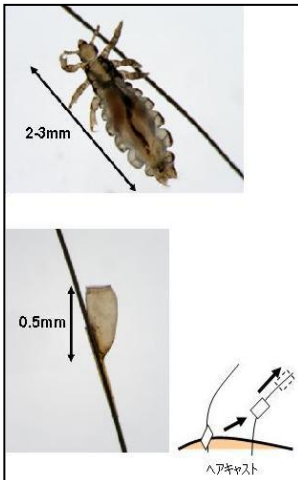


ゆめいっぱい

アタマジラミを髪についで



先日、数人の園児からアタマジラミがみつかりました。アタマジラミが発生する季節は、昔は暖くなる4月頃から夏にかけてでしたが、いまでは暖房が行き渡り、1年中発生しています。「アタマジラミは不潔さとは無関係で、誰にでも感染することがあります。」アタマジラミの活動が活発になると、たちまち、急成長して大量発生の危険が増してきます。卵は約1週間でふ化するので、大量発生につながります。

シラミが発生すると！

頭がかゆくなる症状がアタマジラミの発生した時の症状の特徴です。単にかゆくなるのは、フケがたまったり、洗髪を数日してなかったりとありますが、アタマジラミのかゆさは、そんなまよやさしいものでは、ありません。かゆくて、かゆくて夜も眠れないほどです。人間の頭の血を吸って、約一ヶ月も生き続けるので、徹底して最初のうちに退治しないと集団発生に及びます。

早期発見を！

- 頭をかゆがっていないか。
- 吸血されたあとはないか。
- 成虫はいないか。
- 髪に卵がついていないか。
(耳の後ろ、つむじ、えりあしを中心に、髪を少しずつ、かきわけてみてください。)

もし 見つかったら！

1. 成虫をとり、卵の付いた髪はなるべく切る。
2. 病院（皮膚科）や薬局でシラミ駆除剤を購入し、使用する。
3. シーツ、まくらカバー、タオルなどは熱湯処理、アイロンをかける。
4. 家族全員で駆除にあたる。

感染症について

これからの季節、インフルエンザ等の感染症の病気が流行してきます。幼稚園も、子供たちに手洗い・うがいを促しています。ご家庭でも、手洗い・うがい、そして十分な睡眠、栄養のある食事を心がけ、免疫力を高め、インフルエンザにかからない強い身体づくりをお願いします。また、感染した場合は、医師の診断のもと下記の出席停止の期間の基準に従い、自宅で静養をお願いします。その際、医師からの完治証明はいりません。「登園許可届」を記入し提出ください。

	感染症の種類	出席停止の期間の基準
第2種	インフルエンザ	発症した後5日経過し、かつ、解熱した後、2日（幼児にあたっては、3日）を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は、5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療の終了するまで
	麻疹（はしか）	解熱後3日経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現後5日を経過し、全身状態が良好になるまで
	風疹（3日はしか）	発疹が消えるまで
	水痘（みずぼうそう）	すべての発疹がかさぶたにま
第3種	ウイルス性肝炎、腸管出血性大腸菌感染症（O-157等）流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症（手足口病、溶連菌感染症、伝染性紅斑 等）	症状に応じて出席停止の必要性を医師が判断し、医師の許可があるまで